THE NIKKAN KENSETSU TIMES
2022（令和4）年
8月29日（月曜日）第15283号
千葉版
昭和41年12月14日　第３種郵便物認可　©日刊建設タイムズ社2022

日刊建設タイムズ

www.k-times.com
発行所　日刊建設タイムズ社
〒260-0854　千葉市中央区長洲1-33-15　タイムズビル
電　話043-225-5911　ＦＡＸ043-224-4136
Eメール info@k-times.com
日刊（土・日・祝日休刊）
購読料　1か月　8,316円（うち税616円）
6か月 49,896円（うち税3,696円）

千葉エンジニアリング株式会社
一貫した調査体制の充実
調査品質の向上
ASK　ME！
〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 2-1-31
TEL.043-244-2311 ホームページはこちら→

きょうの紙面
公共　木更津市新庁舎整備で開庁時期を１年先送り　2
公共　八街市補正／八街中トイレ洋式化等改修２億　2
公共　館山市補正／見物川ほか護岸改修に3700万円　2
民間　我孫子市開発許可／クリエイトの2136㎡店舗　2
業界　長生中学校生徒が一宮川護岸工など現場見学　2
入札　成田空港／東関道造成等を大成建設12.6億円　3

大規模土地整備を計画
新たな工業系利用可能地
香取市 過疎地域持続的発展計画

香取市は、2022年度から25年度までを期間とする「過疎地域持続的発展計画」の案を取りまとめた。企業・産業の誘致を積極的に進める方針で、立地を希望する企業側の求めへの抜本的な対策として、新たな工業系の大規模土地利用可能地の整備を図る。また、市道Ⅰ―51号線をはじめとする幹線市道などの維持管理と計画的な整備に努めるほか、早期措置段階に区分された60橋梁の修繕などを早期に完了させる。さらに、伊地山クリーンセンターなどごみ処理施設および最終処分場などの更新・整備に取り組む。

計画は、4月1日に旧佐原市、旧山田町、旧栗源町の3地域が過疎地域として公示されたことを受けて策定するもの。

人口減少対策を過疎対策の根幹を成すものとして捉え、総合戦略に位置付けた基本目標および事業施策との密接な連携を図りつつ、人口減少対策に係るさまざまな取り組みや各施策を重点的な取り組みとして位置付けている。

「持続可能な地域社会の形成」と「地域資源を活用した地域活力のさらなる向上の実現」を基本方針として掲げるとともに、「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」「産業の振興」「地域における情報化」「交通施設の整備、交通手段の確保」「生活環境の整備」「子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上および増進」「医療の確保」「教育の振興」「集落の整備」「地域文化の振興等」「再生可能エネルギーの利用の推進」の分野別に計画を打ち出している。

「産業の振興」では、農業に関して計画的な土地基盤整備や農村・森林環境整備などに取り組むほか、伝統的建造物群保存地区および景観形成地区内の電線類地中化を推進。また、橘ふれあい公園の拡張・再整備を行う。さらに、新たな工業系の大規模土地利用可能地の整備を図り、企業・産業誘致を進める。

「地域における情報化」においては、既存の防災行政用無線をデジタル方式へ更新するとともに、戸別受信機についてもデジタル方式に対応させる。

「交通施設の整備、交通手段の確保」に関しては、市内幹線市道などの維持管理と計画的な整備に努める。市道Ⅰ―57号線は用地取得により工事進捗を図る。市道Ⅰ―10号線については流末排水整備を早期に完了させ、市道自体の整備を進める。市道Ⅰ―51号線などでは、幹線道路網整備計画によるルートの選定および詳細設計を実施するとともに、歩道整備と車道拡幅を検討する。また、早期措置段階（Ⅲ判定）に区分された60橋梁の修繕などを早期に完了させる。

「生活環境の整備」では▽水道施設、管路＝効率的な整備および計画的な更新▽下水処理施設＝浄化センター・中継ポンプ場などのストックマネジメント計画に基づく点検・実施設計・工事、公共下水道総合地震対策計画に基づく耐震診断・補強設計・耐震化工事、農業集落排水施設の最適整備構想に基づく具体的かつ効果的な整備▽廃棄物処理施設＝伊地山クリーンセンターなどごみ処理施設および最終処分場などの更新・整備▽消防施設＝消防力整備後期実施計画に基づく対象施設などの計画的な更新▽防災行政用無線＝早急な更新・整備――に取り組む。

「子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上および増進」で、公立関連保育施設について再編統合を含む施設配置計画を検討・推進するほか、既存施設の計画的な維持補修・更新整備に努める。

「教育の振興」においては、市民協働で学校再編を検討するほか、体育施設について10年後、20年後を見据えた再整備計画を策定し、段階的な整備を図る。また、必要な社会教育施設のあり方を再検討し、整備などについて総合的かつ計画的な措置を講じる。

「集落の整備」では、過疎地域集落再編整備として、本宿コミュニティホーム解体事業を行う。

なお、市内在住・通勤・通学者などを対象とする案のパブリックコメントを9月16日まで実施している。

調和の森
コスモスの丘南子安保育園 新昭和で9月着工

社会福祉法人調和の森（印西市草深2371―1）は、「（仮称）コスモスの丘南子安保育園新築工事」の制限付き一般競争入札を8月1日に開札し、㈱新昭和（君津市東坂田4―3―3）を落札者とした。

落札価格は非公表。入札参加者は5社。予定価格は2億7900万円（税抜き）だった。工期は9月1日～2023年2月28日。

（仮称）コスモスの丘南子安保育園の整備は、君津市の南子安保育園の民営化に伴うもの。

建設地は、南子安5―9―1ほか。建物は木造2階建て、準耐火構造、建築面積510・42㎡、延べ床面積841・69㎡。諸室等は、保育室、遊戯室、事務室、一時あずかり室、厨房、園庭など。

定員は0歳9人、1歳・2歳各18人、3～5歳各25人の合計120人。

設計者は㈱横松建築設計事務所（栃木県宇都宮市花園町4―1）。

浦安市補正
11月に一般競争入札
美浜中改修を前倒し

浦安市は9月2日開会の第3回定例議会に、7億7170万円を追加する一般会計補正予算案第4号を上程する。これにより、総額は693億6700万円となる。当初予算で設定した、2023年度までを期間とする美浜中学校改修事業の債務負担行為について、限度額を5億6300万円から3億9410万円に変更。加えて、工事費1億6800万円を計上した。材料調達等に時間を要する見込みから、事業を前倒して進めるもの。11月に一般競争入札を公告し、12月議会で契約について承認を求める方針だ。そのほかの主な歳出は次の通り。

【総務費】
▽自治会集会所バリアフリートイレ呼び出しボタン等設置工事費＝312万円
▽美浜16自治会集会所建替事業実施設計委託料＝150万9000円

【民生費】
▽地域包括支援センターバリアフリートイレ呼び出しボタン等設置工事費＝47万2000円▽美浜16サロンの会会館建替事業実施設計委託料＝123万3000円

【土木費】
▽公園バリアフリートイレ呼び出しボタン等設置工事費＝414万円▽集合住宅長寿命化支援計画修繕調査費補助金＝179万円

【教育費】
▽特別支援学級等整備実施計画委託料＝110万円▽特別支援学級等整備工事費＝3663万円▽美浜中学校改修工事費＝1億6800万円▽入船南認定こども園改修事業実施設計委託料＝774万4000円

内堀事務所長（前列左から5人目）を囲む受賞者など

21年度 利根川下流河川 優良工事等表彰
東邦建設に受賞の栄
たゆまぬ努力と熱意の賜物

利根川下流河川事務所の2021年度優良工事等表彰式が7月21日、佐原中央公民館3階大会議室で開催された。優良工事関係は総数38件の中から選ばれたもので、東邦建設㈱など優良工事8件、優秀工事技術者2人、難工事功労3件。優良業務関係は総数30件の中から選定され、優良業務2件、優秀技術者2人。そのほか、「河川工事（河川・海岸・ダム・砂防）〝ナマ〟現場写真コンテスト表彰」の対象は1件だった。

あいさつに立った内堀寿美男事務所長は「表彰は、皆さま方の技術力の高さと責任感を示すとともに、日々のたゆまぬ努力と、利根川下流地域の安全・安心の向上に向けた熱い思いの賜物」との見方を示した上で、「引き続き建設業界の発展のため、他社の模範となるよう技術の研さんに努め、地域の暮らしがより安全・安心で快適になるよう、さまざまな施策などへ協力してほしい」と呼び掛けた。

さらなる技術力向上
内堀寿美男事務所長 あいさつ

今回の表彰は、皆さま方の技術力の高さと責任感を示すとともに、日々のたゆまぬ努力と、利根川下流地域の安全・安心の向上に向けた熱い思いの賜物だと思っています。

現在、少子高齢化や若手入職者の減少、さらにはコロナ禍等での資材の高騰・調達の難航など、建設業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

また、近年、建設分野ではデジタル・ICT・DX・カーボンニュートラルといった用語が飛び交い、自動化・新技術・三次元化・非文書化など、生産性の向上や省力化、環境対策などによる建設業界の魅力向上が強く求められています。

建設業界が、社会に役立つ存在として再認識され、より一層、地域から信頼され愛されるためには、われわれ発注者側と皆さま受注者側が一体となり、それぞれの分野において知恵を絞り、工夫を重ね、協議し、さらなる技術力の向上を図りながら進めていかなければならないものと認識しています。

今後も厳しい社会情勢が続くことが予想されますが、事業者の皆さまが施工しやすい、魅力があり継続できる環境づくりなどに取り組んでまいる所存です。

表彰を受けられた皆さま方には引き続き、建設業界の発展のため、他社の模範となるよう技術の研さんに努められるとともに、地域の暮らしがより安全・安心で快適になるよう、さまざまな施策などへのご協力をお願い申し上げます。

Ｒ２利根川右岸木下護岸災害復旧工事
東邦建設 株式会社／優良工事

【工期】
2021年5月11日～22年2月15日

【工事成績評定点】
81点

【工事概要】
印西市木下地先における延長約300mのタイロッド式矢板護岸の災害復旧。

【表彰理由】
出水期施工の災害復旧工事であることを踏まえ、早期機能回復のため施工性に優れるプレキャスト製品の採用を提案したほか、既設構造物との接続箇所の連続性を意識し、既設構造物管理者との調整を積極的に行うなど、工程管理や品質向上を常に意識して事故やトラブルなく完了させた。

コロナ禍を考慮した現場環境の構築、遠隔臨場の積極的な採用など、他工事の模範になるものだった。

完成

施工箇所周辺のごみ拾い

総合建設業・がれき類中間処理業
東邦建設株式會社
代表取締役　宮村　亮祐
〒286-0133　成田市吉倉 150-18
TEL：0476-22-7301　FAX：0476-22-7304
URL http://www.toho-const.co.jp/